

# アイリメンバーユウ

作詞・作曲：豊田勇造

零下 17 度の外気のなかで　しゃぼん玉吹くとすぐにこわれ

細かい氷の結晶になって　光りながら落ちるのよ

そんな話が美しかったし　話すあなたも美しかった

今は離れた夜にいて　アイリメンバーユウ

喫茶店の中庭で　朝のコーヒー飲んだ

あなたは少し生い立ちを話し　ブルーズに救われたと言った

足元には花が咲いてた　花の名前を教えてくれた

めしべを慕う　おしべのように　アイリメンバーユウ

駅への道を急ぎながら　フランスパン渡してくれた

帰る約束がなかったら　切符の残りを捨てたかった

無事を祈る灯台のように　黙って見送る姿が見えた

星を見つめる渡り鳥のように　アイリメンバーユウ

たった 1 回聞いただけで　忘れられない話もある

たった 1 回会っただけで　忘れられない人もいる

いつか真冬の北海道で　しゃぼん玉吹いてみたい

その日がくるまでこの歌で　アイリメンバーユウ

いつか真冬の北海道で　しゃぼん玉吹いてみたい

その日がくるまでこの歌で　アイリメンバーユウ